



(放送大学附属図書館所蔵コレクション展)



図書館と放送大学の学びのコラボ

放送大学秋田学習センター所長 井上 浩

いつでも・どこでも・誰でも学べる開かれた大学、「放送大学」を御存知ですか。放送大学が設置されて三十三年、また「秋田学習センター」が開設二十周年を迎えて、多くの地元の皆様の教養や資格に関する学びを支えています。

秋田県立図書館と放送大学秋田学習センターは、平成二十一年度から「秋田をまなぶ講座シリーズ、連携セミナー」（年四回の講演会）を県内各地の図書館で開催しています。八年目（シリーズⅧ）の今年度には、秋田学習センター開設二十周年記念式典に合わせて、藤田のぼる氏をお招きし、「児童文学 読む楽しみ・書く楽しみ 秋田からの出発」と題して特別記念講演を開催しました。

また、県立図書館と放送大学附属図書館・秋田学習センターのコラボ企画「日本残像 ―ちりめん本と古写真が語る幕末明治―」（平成二十九年二月二日から十日まで県立図書館内）を開催しました。和紙をちりめんのよう処理した上に外国語訳した童話などを印刷した書物と、明治初期の古い写真を展示・解説しました。ちりめん本は、県立図書館蔵書とも比較展示を試み、出版の時期により少しずつ内容や体裁が異なっていることが示されました。一方、古写真は、幕末明治初期の特徴的で興味ある写真が多数展示されました。「ちりめん本と古写真」という独自の文化を通して、歴史の一端を学んでいただきました。

大学には附属図書館がありますが、公共図書館の役割とは異なり、利用者の目的も若干異なります。大学の学びには、カリキュラムという「学びの系統」と、単位を取得するという「学びの水準」があります。しかしながら、教養を身に付け、更に専門的な知識を得ようという「学びの心得」は共通しているものです。大学と公共図書館とのコラボが利用者の皆様の学びのきっかけとなり、更に高度な学習に進展して、学びの結果が地域社会の知的な活動に還元されていき、大きな地域貢献のうねりになることが期待されます。

開かれた大学として放送大学秋田学習センターは秋田大学手形キャンパス内にあり、地域の皆様の学びの御支援が出来るものと考えています。ぜひ一度訪ねてみてください。

県立図書館は様々な情報を県民の皆様に届けています

学校図書館への支援 — 学校図書館の運営の充実と読書活動の推進を目指して —

県立図書館では、平成19年度から高等学校や特別支援学校の学校図書館に対して、様々な支援を行っています。今回は、今年度の取組の中から学校図書館訪問とセット資料の貸出しについて御紹介します。

学校図書館訪問



複数の職員が訪問し、多様な観点から助言を行います。

学校図書館訪問とは、県立図書館の職員が高等学校や特別支援学校の図書館を訪問し、担当の教職員と情報交換をしながら、図書館運営に関する助言を行う取組です。今年

度は延べ11校を訪問しました。

学校図書館それぞれの状況によって、相談内容も多岐にわたります。「貸出し・返却のルールをどのように整えればよいか」「読書の意欲を高める工夫にはどのようなものがあるか」「図書館資料の整備を進める上で、どんな本を選べばよいか」といった



本を保管する書庫や貸出しを行うカウンター等について、助言を行うこともあります。

課題に対して、学校図書館担当の教職員と一緒に良い解決方法を考えていきます。学校の状況や要望によっては、年度の中で2回目の訪問をし、より充

実した支援を行うこともあります。

今後も個々の要望に応じていきながら、学校図書館の運営充実のための支援を続けていきます。

セット資料の貸出し



テーマの内容は雑学、歴史、科学、スポーツ、芸術等たくさんあります。

高等学校や特別支援学校に対して、テーマ毎に約30～40冊の本を1つのコンテナに入れて貸出しをしています。昨年度から、セット内容の充実特に力を入れており、

10月には新たに詩集や写真集等、6テーマ21セットを加え、54テーマ194セットの中から選べるようになりました。なお、今年度は高等学校や特別支援学校にアンケートを実施し、各学校の要望にもとづいた資料の購入を行いました。



テーマの内容に応じた看板も入っており、すぐに展示ができます。

人気のセットは小説、料理、趣味、仕事等です。学校専用のセットになっているため、2～4か月間、貸出しをすることができ、学校図書館での展示や授

業等で活用されています。今年度は約250セット、9,300冊程度の貸出しを行いました。

4月からは、さらにエッセイや伝記等15テーマ62セットの追加・更新を行う予定で、今後もセットの内容の充実を図っていきます。

Topics

～県立図書館の事業やイベントなどの紹介～

今年度のセカンドスクールから



職員からテーマ展示の説明を受ける小学生たち

教育施設等のセカンドスクールの利用として、全県各地から小中学生、高校生が県立図書館を訪れ、施設見学、職場体験、インターンシップを行いました。今年度は小学校3

校、中学校19校、高等学校8校から延べ154名の生徒を受け入れました。

児童・生徒たちは、はじめに県立図書館の組織や業務などについて説明を受け、続いて閲覧室や書庫を見学しました。体験活動では、閲覧室内の書架整理、市町村図書館や県立学校への貸出準備や返本作業、新着本へのラベルやカバー貼りなどの業務を体験しました。また今年度は小学生では貸出体験、中学生では職員へのインタビュー、高

校生ではカウンター業務体験など年代に応じた校種別の活動を行いました。

参加した児童・生徒からは、「この体験を通して、仕事に対する理解も深まり、将来のことを

考えるきっかけになった」「カウンター業務を体験して、コミュニケーションの大切さを学ぶことができた。教えてくれた職員の作業の速度や的確さを強く感じた。以前にも増して司書として働きたいと思った」などの声が寄せられました。

限られた時間でしたが、児童や生徒たちにとって、図書館の仕事や役割について学ぶよい機会になりました。



職員のアドバイスを受けながら、図書館の業務を体験しました。

県南の洋画家たちの作品に触れる —特別展示—

12月18日（日）から1月30日（月）まで、2階特別展示室にて、特別展示「油彩画の魅力 横手・湯沢の洋画家たち」を開催しました（県立近代美術館との連携による展示）。今回は、県立



1月15日（日）には、展示作品や関連資料について解説をするギャラリートークを行いました。

近代美術館の所蔵する県南出身の洋画家たちの代表的な作品を展示し、関連資料を交えながら紹介しました。訪れた人は、展示されている多くの作品の鑑賞

を通して、横手や湯沢の地で美術の振興に尽力した人々の功績や、創作にかけた熱意を感じていました。

学校図書館の「今」を知る —高等学校図書館報の展示—



入賞した16校の学校図書館報は、個性豊かな力作ぞろいでした。

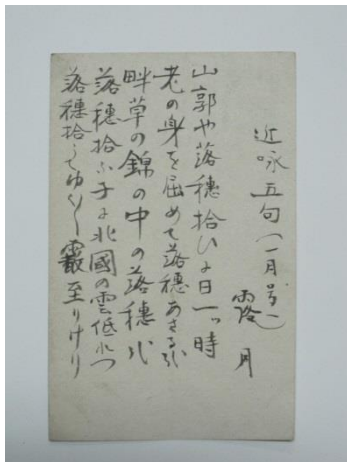
2月18日（土）から3月5日（日）まで、1階エントランスホールにて、「平成28年度 秋田県高等学校図書館報コンクール」の入賞作品を展示しました

（県高等学校教育研究会学校図書館部会との連携）。図書委員会の生徒や担当教職員の手によって作られた、学校図書館の広報紙が一度に見られる機会はありません。今年度も「図書委員会の活動報告」「お薦めの本の紹介」「図書館の一年をふり返る」といった恒例の企画の他、「OB・OGへの取材」「地域と連携した活動」「戦争の記憶を伝える」「被災地支援の取組」といった多彩な企画が紙面を飾りました。訪れた人は、記事の内容にうなずいたりしながら、各校の紙面の特色を見比べていました。

Pick up ～各班からの話題～

図書資料班

石井露月葉書（句入り）の御紹介



石井露月葉書（句入り）

秋田市雄和出身の石井露月は正岡子規に師事した俳人で、秋田に戻った後も医師として働く傍ら、俳誌『俳星』を刊行するなど県内の俳壇に大きな影響を与えました。

この葉書は露月が俳誌『ホトトギス』発行所に宛てた自筆の句入りのもので、

「近詠五句（一月号へ）」の記載が見られます。消印が不鮮明で年月がはっきりしませんが、様々な資料から、大正9年の作であり、大正10年新年号に掲載されていることが確認できます。

情報班・サービス班

閲覧室内の表示の見直しを行いました



変更箇所の一例。柱の陰にある書架についても案内表示を作成しました。

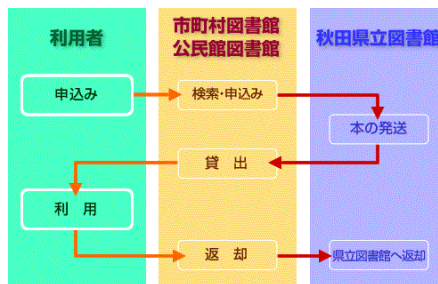
閲覧室内の書架は一見ずっと動かないように見えますが、日々発行される新刊書などを受け入れることで、少しずつ入れ替わっています。棚の変更に伴って、閲覧

室内の案内表示も見直しする必要があり、今年度は「596 食品・料理」、「748 写真集」、「913.6 近代小説」等、一部書架の差し込み表示

を変更するなどして、表示の見直しを行いました。今後も見やすく分かりやすい表示を目指して参りますので、ご利用の際にお気付きの点がございましたら、カウンター職員へお伝えください。

企画・広報班

県内市町村図書館・公民館図書室とのネットワーク



県立図書館の資料は、県内市町村図書館や公民館図書室を通じて借りられます。御希望の場合は、最寄りの

図書館・公民館図書室でお申込みください。資料は通常1週間から10日間程度で届き、受取や返却ができます。図書館・公民館を通じた資料の取寄せは無料です。遠方にお住まいの方、来館が難しい方はぜひ御利用ください。詳しくは最寄りの図書館・公民館図書室または県立図書館企画・広報班にお尋ねください。

Event ～イベント・催し物のお知らせ～

■特別展示 「秋田市電にゆられ展」 ～県立博物館との連携による展示～

【期間】3月25日（土）～5月28日（日）

【時間】午前10時から午後5時まで

【会場】県立図書館 2階特別展示室

【内容・見どころ】

秋田市電は、昭和40年12月まで走っていた路面電車です。明治22年に開業し、昭和26年には秋田駅前から土崎までの直通運転が始まりました。しかし高度経済成長期の自動車社会の到来と共に廃止されました。かつて市民の足だった路面電車の実物資料と写真を展示し、過ぎ去りし昭和のぬくもりをお届けします。